北朝鮮による核開発の現状について

過去の核兵器開発疑惑が解明されていないこと及び過去5回の核実験を通じた技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、<u>北朝鮮の核兵器開発が相当に進んでいる可能性も考えられる</u>。

観測された地震の規模及び推定出力

「過去4回の核実験と比較すれば、最大の出力



	2006年	2009年	2013年	2016年	2016年
	10月	5月	2月	1月	9月
地震の規模 (CTBTO発表の値)	M4.1	M4.52	M4.9	M4.85	M5.1
推定される出力	約	約	約	約	約
(※TNT換算)	0.5-1kT	2-3kT	6-7kT	6-7kT	11-12kT

水爆の保有に関する評価

〇 16年1月の核実験について、北 朝鮮は、初の水爆実験を成功裏に 実施したと主張。



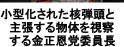
地震の規模から考えれば、一般的な水爆実験を行ったとは 考えにくいものと認識。

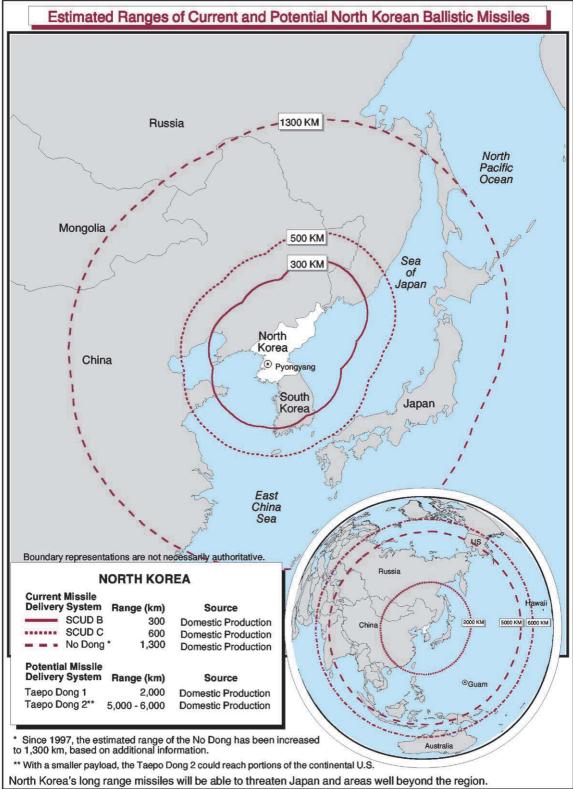
小型化・弾頭化に関する評価

○ 第5回目の核実験(2016年9月9日)後、北朝鮮は、核兵器研究所声明を通じて、「北部核実験場で、新たに研究、製作した核弾頭の成力判定のための核爆発実験が成功裏に行われた」と発表。



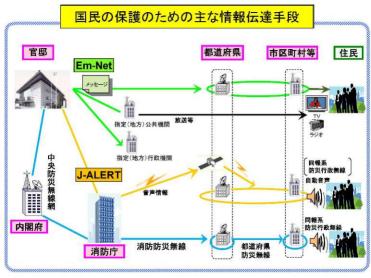
技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、<u>北朝鮮が核兵器の小型化・</u> 弾頭化の実現に至っている可能性も考 えられる。





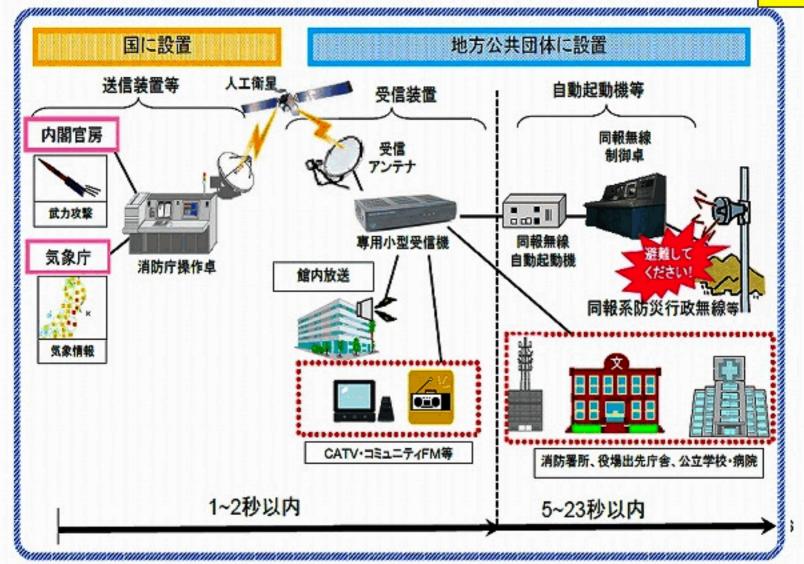
図表Ⅲ-1-2-2 BMD 整備構想・運用構想(イメージ図) ミッドコース段階 ロケットエンジンの燃焼が終了し 慣性運動によって宇宙空間(大 ペトリオットPAC-3による 気圏外)を飛行している段階 各種センサーに 下層(大気圏再突入後)での迎撃 よる探知・追尾 イージスBMDによる ブースト段階 (地上レーダー 上層(大気圏外)での迎撃 発射後ロケットエン イージス) ジンが燃焼し、加速 ターミナル段階 している段階 大気圏に再突入 して着弾するまで の段階 航空自衛隊 高射部隊 ペトリオットPAC-3 航空自衛隊 地上配備型レーダー 弾道ミサイル (既存システムの改修 警戒管制部隊 既存レーダー(改修) +ミサイルの取得) 新型レーダー 海上自衛隊 海上構成部隊 防護地域 イージスBMD 航空自衛隊 防護地域 自動警戒管制システム (JADGE (装備化)

防護地域 イージス艦 (既存艦の改修+ミサイルの取得) BMD統合任務部隊指揮官 Defense Ground Environment)



①全国瞬時警報システム(J-ALERT)





緊急地震速報	ブザー音 (4回)	す。大地震です(おおじしん)です。」×3回「こ ちらは防災ふじみ野です」(下りチャイム)
弾道ミサイル情報	国民保護サイレン (14秒吹鳴)	「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地 域に着弾する可能性があります。屋内に避難 し、テレビ・ラジオをつけて下さい。」×3回「こち らは防災ふじみ野です」(下りチャイム)
航空攻撃情報	国民保護サイレン (14秒吹鳴)	「航空攻撃情報。航空攻撃情報。当地域に航空攻撃の可能性があります。屋内に避難し、 テレビ・ラジオをつけて下さい。」×3回「こちら は防災ふじみ野です」(下りチャイム)
ゲリラ・特殊部隊 攻撃情報	国民保護サイレン (14秒吹鳴)	「ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。当地域に ゲリラ攻撃の可能性があります。屋内に避難 し、テレビ・ラジオをつけて下さい。」×3回「こち らは防災ふじみ野です」(下りチャイム)
大規模テロ情報	国民保護サイレン (14秒吹鳴)	「大規模テロ情報。大規模テロ情報。当地域テロの危険が及ぶ可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけて下さい。」×3回「こちらは防災ふじみ野です」(下りチャイム)

注意事項

これらの情報は自動的に放送されるシステムのため、深夜でも放送されます。

緊急地震速報の場合、震源が近い時や、直下型地震の場合は、放送が間に合わないことがあります。

強風や雨などの気象条件や、住宅の遮音性の向上、地形などにより情報が聞き取りにくい場合があります。